

森林だより

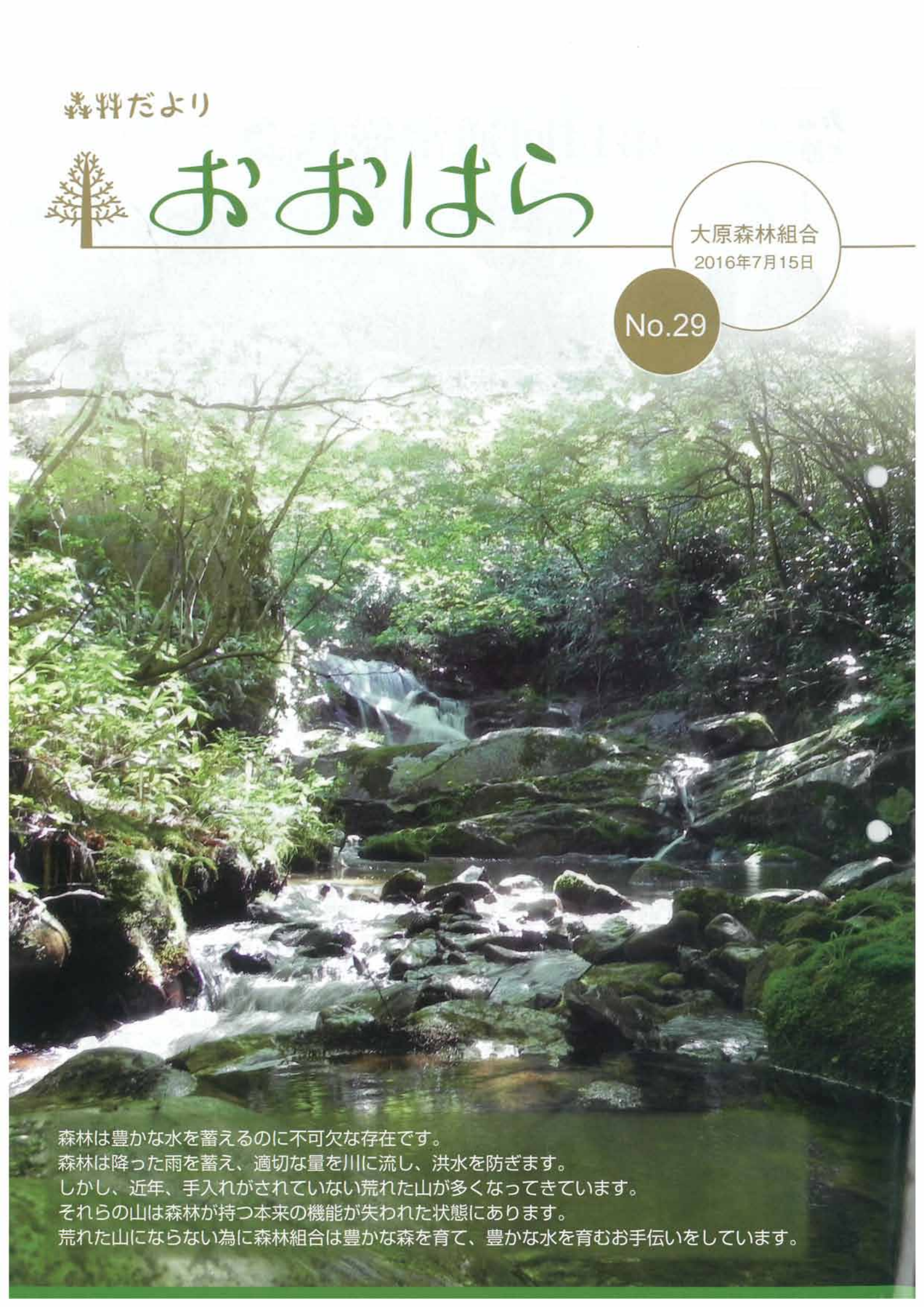


おおはら

大原森林組合

2016年7月15日

No.29

A photograph of a lush green forest with a stream and a small waterfall. The water flows over mossy rocks, and the surrounding trees are dense and vibrant green.

森林は豊かな水を蓄えるのに不可欠な存在です。
森林は降った雨を蓄え、適切な量を川に流し、洪水を防ぎます。
しかし、近年、手入れがされていない荒れた山が多くなっています。
それらの山は森林が持つ本来の機能が失われた状態にあります。
荒れた山にならない為に森林組合は豊かな森を育て、豊かな水を育むお手伝いをしています。

第14回通常総代会



小林憲司組合長あいさつ



去る5月30日、平成28年度第14回通常総代会を大東町大東「大東地域交流センター」で開催し、現総代数195名（定数200名）、本人出席123名、委任状15名、書面議決書41名を含め179名の議決権の中で10議案が審議され原案通り全議案が可決承認されました。

平成27年度の主な事業と決算状況は...

平成27年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、損失処理案、注記表及び附属明細書の承認について

第1号議案 主要な事業活動の内容

昨年の日本経済は、アベノミクスによる円安・株高等により、企業収益は過去最高となり大手企業には良好な風が吹きましたが、地方までは効果がなく地方の林業界は依然厳しい状況であります。一方、国の成長戦略に林業の成長産業化が位置づけられ、国産材の安定供給や地球温暖化対策の必要性が問われる中、本県でもバイオマス発電所が稼働し未利用材の燃料化が進められています。

また、地震や豪雨による莫大な被害が各地で多発し、森林の多面的機能の維持・発揮が一層求められる中、人工林の令級構成で戦後植えられた樹木の成熟化が進む一方、若令人工林が少ないという状態にあり、将来にわたる森林資源不足が懸念されます。

森林組合は、森林所有者へ森林の集約化施策を進めていますが主伐を実施した跡地において必ず再造林を行うという状況にはならず、補助金の不足等にもより山離れが一層進むと考えられます。所有者の費用負担が軽減されるような公的支援の対策が必要であります。現場技術者につきましては高齢化と担い手不足の中、今年度も3名を採用することができ、昨年度からは8名の育成に努めております。高齢化の解消、確保した事業の

実施と取扱高を増やすためには更に担い手の確保が重要であります。労働安全につきましては、日々の危険予知活動、安全衛生委員会の実施、全体朝礼による安全目標の周知と確認、更に安全パトロールを行い労働災害の防止に努めました。

次世代に向けた「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業に取組みにつきましては、5.55haの主伐を実施し、伐採跡地3.33haに植栽を行ないました。施業の集約化につきましては、大東町において4.59haに取組み、作業道の開設と高性能林業機械による利用間伐を実施しました。主伐材と利用間伐材、その他を含めた今期の木材生産量は、計画に対し116%の5,263㎥を実施することができました。

平成27年度は、当初計画に対し森林整備事業では87%、利用事業では86%の実績にとどまり、11,503千円の損失を計上することになり組合員の皆様には心からお詫び申し上げます。

平成28年度に向けてはさらに担い手の確保を進めるとともに、経営改善に取り組み、事業量の確保と効率的な事業の実施、安定した経営に努めて参る所存であります。引き続き、組合員様のご理解と関係機関のご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成27年度事業成績及び損益の状況 (単位:千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
一 指 導 事 業	収益 4,898 費用 4,950	事業外損益	収益 9,585 費用 6,199
二 販 売 事 業	収益 43,418 費用 34,320	経常利益(損失)	△11,360
三 森 林 整 備 事 業	収益 243,975 費用 185,005	特別損益	収益 271 費用 86
四 森 林 信 託	収益 0 費用 0	税引前当期利益(損失)	△11,175
事業総利益	68,016	法人税、住民税及び事業税額	328
事業管理費	82,762	当期剰余金(損失)	△11,503
事業総利益(損失)	△14,746	前期繰越剰余金	0
		当期末処理剰余金(損失)	△11,503

平成27年度損失処理 (単位:円)

摘 要	明 細	小 計	合 計
I 当期末処理損失金			11,503,435
II 損失金処理額			
任意積立金取崩額	損失補填積立金取崩	△11,503,435	△11,503,435
III 次期繰越剰余金			0

平成27年度貸借対照表 (単位:千円)

資産の部	金 額	負債・資本の部	金 額
現金・預金	121,095	買掛金・未払金	48,248
売掛金・未収金	91,572	前受金・その他	5,624
棚卸資産	3,574		
その他	4,923		
〔流動資産計〕	221,164	〔流動負債計〕	53,872
有形固定資産	84,772	転貸資金借入金	51
外部出資	18,129	諸引当金	39,694
転貸資金貸付	51		
〔固定資産計〕	102,952	〔固定負債計〕	39,745
		〔負債合計〕	93,617
		出資金	124,752
		法定準備金	49,423
		任意積立金	67,404
		資本準備金	126
		信託森林	297
		当期末処理損失金	△ 11,503
		〔純資産計〕	230,499
資産合計	324,116	負債・資本合計	324,116

区 分	組合員(人)	出 資 金
		出資口数(口) 出資金総額(円)
平成28年3月31日現在	3,932	249,505 124,752,500

平成28度事業方針と計画

第2号議案

大原森林組合が目指す「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業を展開することで森林の若返りを図り、確実に森林経営計画を推進し、林業経営の安定な取組みを行います。今年度より設定した第3期中期経営計画に基づき、その実現に向け努めます。

森林整備においては、森林総合研究所、島根県、林業公社、雲南市等の公的機関が発注される事業の受注、更に事業の確保に積極的に取り組み、少しでも山元に利益が還元できるよ

う努めます。

本年も木材生産5,600㎥を目標に主伐・利用間伐を実施し国産材の利用拡大に努めます。

組合員の皆様に地域から依頼される森林組合として役職員・ザモリトが一丸となり取り組んで参りますので、組合員の皆様をはじめ、関係機関のご指導、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第3号議案 平成28年度賦課金の賦課、徴収方法決定について（前年度と同じ）

賦課基準日 平成28年4月1日

賦課基準 組合員割 500円 面積割10a当り25円
但し、面積割については、100haを上限とする。

徴収期日 平成28年8月末、一括徴収

…平成28年度賦課金の徴収は…
従来どおり地区委員さんを通して徴収させていただきます。（地区によっては、口座引落としにより徴収させていただきます。）



議長 石倉 脩総代(大東地区)

第4号議案 諸手数料率決定について（消費税別）

造林補助金取扱手数料	補助金の10%以内	受託林地供給手数料	取扱高の3%以内	諸証明手数料	1件につき1,000円以上
森林整備手数料	事業費の20%以内	森林保険取扱手数料	保険金の10%以内	各種調査手数料	1件につき3,000円以上
受託販売手数料	取扱高の15%以内	転貸資金取扱手数料	貸付金額の1%以内		
受託林産事業手数料	売上高の15%以内	届出手数料	1件につき500円		

第5号議案 平成28年度における借入金最高限度額決定について

第6号議案 一組合員に対する貸付金最高限度額決定について

第7号議案 余裕金預け入れ先決定について

第8号議案 平成28年度役員報酬額の決定について

第9号議案

国立研究開発法人森林総合研究所分収造林三者契約設定について

第10号議案

第3期「大原森林組合中期経営計画」の設定について

附帯決議事項 本議案の決議事項について、行政庁の指示等による軽微な修正は理事会に一任する。

第10号議案 【第3期中期経営計画：平成28年度～平成32年度】 伐採

1. はじめに

第3期中期計画は、前中期計画の結果を踏まえ、国・県の施策の動向を注視し、この期間を「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の実現に向けた重要な取組時期と位置づけ、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮できる豊かな森林づくりに貢献するものとする。今年度より設定したこの計画に基づきその実現に向け努めます。

2. 生産材の利用拡大と適正な販売価格の実現

- (1) 木材協会や木材関係団体と連携を図り、地元産材活用補助金等を活用しながら木材の地産地消と販路の拡大を目指す。バイオマス発電用チップのための木材供給にも努める。
- (2) 現場技術者の造材技術の向上に努めるとともに、素材の価値を活かす。

3. 木材生産の拡大と低コスト施策の実現

- (1) 現在の2班体制を3班体制に強化し、木材生産量の拡大を図る。また、素材生産者と連携し外部化を図ることも検討する。
- (2) 高性能林業機械の活用生産性を高める。長期間使用できる林内路網が必要であり補助事業を活用しながら計画的に作業道を整備する。
- (3) 木材生産目標材積 32年度目標10,000㎥（利用間伐 3,100㎥・主伐外6,900㎥）

4. 次世代に引継ぐ豊かな森林づくりの推進

- (1) 伐採跡地の再造林等を含め地域森林計画に沿った適切な森林管理を行う。
- (2) 独自のGIS（土地情報システム）を活用し、組合員所有林の状況に応じた整備を提案し、多面的機能を持続的に発揮していく森林づくりを目指す。

5. 提案型集約化施策の推進と持続的な森林経営の実現

- (1) 組合員所有の森林、市有林、公社造林地及び分収造林地を含めた提案型集約化団地を設定するよう努める。

- (2) 長期施策受委託による管理の実施、組合員の意向に併せた契約を検討する。

6. 担い手となる職員及び作業員等の育成・確保

- (1) 多様な人材を確保し適材適所に配置する。
- (2) 生産管理業務全般に精通し、低コスト作業の実施に必要な技術・技能を有する者を育成する。

7. 労働安全衛生の向上

- (1) 技術力向上のための研修や安全教育の充実・強化に取り組み、労働災害の防止に努める。

8. 計画的な設備の整備

- (1) 循環型林業の担い手として高性能林業機械をはじめ、施設・設備の整備が必要であり、補助事業を有効に活用し計画的に整備・更新を行う。

9. 信頼される組合運営

- (1) 大原森林組合は、「組合員への奉仕」及び「地域社会への貢献」のため、組合員とのコミュニケーションに努め、組合員から信頼される運営を目指す。
- (2) コンプライアンスマニュアルの定着化を目指し役職員研修等を開催する。
- (3) 組合経営の効率化を図るため、業務改善に取り組む。

10. 年度別事業取扱高

単位(千円)

年 度	事業取扱高
平成28年度	352,978
平成29年度	363,200
平成30年度	378,000
平成31年度	392,900
平成32年度	407,800

役員体制が 変わりました



平成28年6月1日、専務理事
に安達幸雄理事(大東地区出身)
が就任されました。

一言ご挨拶を申し上げます。

このたび、専務理事を拝命いたしました安達でございます。

近年の森林・林業を取り巻く状況は材価の低迷が長期間に及ぶなど厳しいものがあります。このような中、当大原森林組合は直近三事業年度において欠損を続けております。

このような状況のなか、組合の運営に関わらせていただくことに大きな責任を感じております。

一方、過去造林してきた針葉樹林は、五十年前後になっており、今後は「伐って植えて育てる」循環型林業を実現することが必要と考えております。

そのためには、木材の生産を進めるとともに、次世代に引き継ぐ森林の整備のため、提案型集約施業を実施し、コストの低減を図ることが必要です。

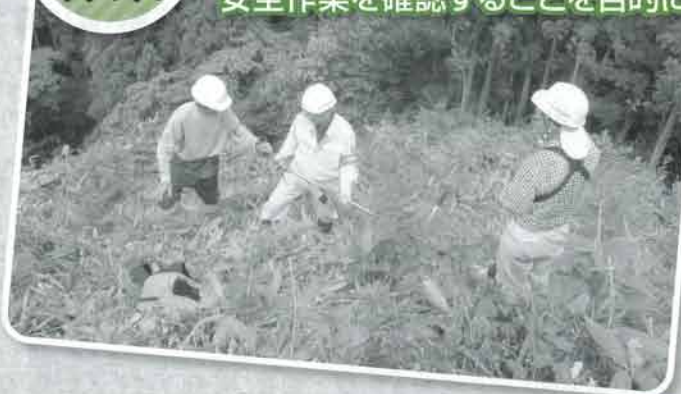
そのためには、役職員力を合わせ取り組む所存ですが、組合員の皆様、総代の皆様のご理解とご支援ご助力が必要であり、次世代に引き継ぐ豊かな森林をつくるためご協力をお願い申し上げます。

安全パトロールによる 現地指導を実施

平成28年度は『安全管理特別指導事業所』となり、特にチェーンソーの伐木等の作業・車輛系の木材伐出機械等の労働災害防止に努め、「目指すゴールは災害ゼロ」を目標に労働安全について取り組んでいます。

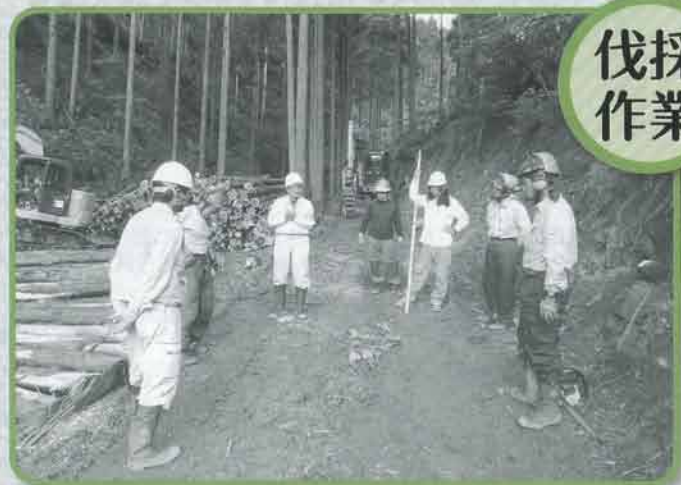
下刈 作業

基本に沿って作業ができているか、上下作業をしていないか、正しく刈刃の目立てができているか、安全管理者等及び同行班長で互いに安全作業を確認することを目的に実施します。



伐採 作業

車輛系機械の死角と施回範囲について、安全管理者及び推進者、作業従事者全員で検証します。



まずはお互い声を掛けよう!!
日々の作業の“慣れ”からくる思い込みは危険です。
再度初心に帰って日々の作業を見つめ直しましょう。



平成28年度の地区委員の皆様が決まりました。

組合員の皆さんのお世話をいただくこととなりました。よろしくお願いします。

大東町		宮之谷	飯浜 健	明賀谷	藤原宏芳	南加茂西	竹下文子	中の段2	渡部一哉
東町	藤原重光	宮内谷	錦織 健	中 盛	和栗 昇	宇治上	西川俊雄	正 理	小林利春
光	岸野俊一	西 谷	石飛吉紀	下 岡	森山静雄	宇治東	小林由和	東大谷	藤原元文
上町	瀧 和正	中 組	永瀬康則	横手谷	石原 栄	宇治北	小林由治	天 殿	佐藤 良
中町	石橋正俊	石井谷	森山武義	掛 屋	藤原利夫	才明寺	多々納基則	小川上	宇都宮康雄
本町	松本和広	下 組	菊田洋一	三 峠	朝日照男	神原東	影山敏雄	坂本口	難波 正
南本町	村上 明	上 組	永家 豊	川 西	岩田幸治	神原西	日野勝之	万 場	大櫃拓自
西本町	松本一男	上仁和寺	上原美博	太 聖	小川 薫	下神原	山田倫子	川上上	板持康二
西町	福岡 清	本岩根	武田孝史	日 向	難波 徹	高 見	星野充宏	川上下	広野文夫
神田町	川上朋良	中岩根	小川和夫	大 井	石原博行	愛 宕	勝部昌雄	大川上	友塚元雄
北町	細川正樹	九 量	武田善人	長 谷	千原博司	段 部	古瀬岩男	大川下	田中宏芳
大木原	小山 洋	西 廻	今若政幸	下 区	藤原國男	岡	日野一夫	駅 前	田中 憲
越 戸	川本 薫	尾 崎	山崎 等	上 組	藤原修至	大竹上	渡部昭夫	新 殿	室田廣幸
古城	若槻 彰	郡 家	内田孝志	段 原	中西正義	大竹下	中林行正	古 殿	陶山昌幸
織 部	永瀬公美	山根口	高本奈美子	中 組	椿 宗一	延 野	平井初恵	井 戸	陶山彰二
田中下	狩野久芳	上原口	兒玉昭雄	殿居敷	安立 彰	大 崎	錦織裕之	上宇山	大坂 勇
田中上	中西国雄	中原口	上代 潔	下 組	落合孝司	猪 尾	深田貴之	下宇山	石田 薫
新庄西	渡部直樹	下原口	稲田 敦	山王寺本郷	岸野芳興	岩 倉	坂田安司	城 角	景山 徹
新庄東	藤原由弘	前原一	妹尾 慶	和 野	細田卓士	畑	原 安男	市井原	田本 徹
新庄南	富山 繁	前原二	藤原真一	薦 沢	石飛芳元	東谷北	梶谷治男	仲 田	景山 勉
清 田	石川健市	陰 地	常松茂雄	須 賀	足立 清	東谷南	深田誠治	本谷中	藤原信人
金成上	藤原貞義	日 南	黒崎晴夫	八 所	佐々木 徹	東谷谷	梶谷光正	本谷下	持田明典
金成下	石川辰子	峰	大津田賢信	引 坂	細田定雄	昭 和	高橋育男	中谷上	為石裕次
泉 谷	石川郁夫	本 郷	鶴原広志	北 村	渡部 茂	砂子原上	坂本茂利	中谷下	細木 巧
柿 坂	野々村雅夫	若 木	岡田 誠	飛 石	狩野高行	砂子原中	内部 實	菟 原	河口勝盛
駅 前	横山美昭	師 弟	細木峰雄	温 泉	山根和真	砂子原下	内藤貞正	中 組	藤原隆明
上 組	川上友之	川 筋	板持三津郎	中 屋	内田 進	木次町		共 和	小村正樹
宮ノ下	遠田 博	後 谷	稲田静男	南 村	和久利孝雄	槻之屋	杉山正美	共和南	赤名 孝
中 組	上代道明	神 代	兒玉勝弘	小河内	宮川浩二	東	西村成永	朝 日	橋本正夫
下 組	横山昭夫	杉 谷	高橋保雄	刈 畑	藤原信治	前 側	西村公良	北 側	福岡正徳
横 町	山崎太樹三	潤 谷	吾郷清美	森 木	若槻満男	漆 仁	西村直彦	上 口	細木浩之
本 町	山本秀二	狩 山	錦織眞一	奥 山	安達暁治	門	鳥谷紀幸	浜 谷	佐藤彰信
上 ゲ	野々村明義	中 筋	兒玉薫一	塩 田	藤原勝義	山 方	鳥谷 猛	浜が丘	田部忠徳
山 王	井田 豊	原 口	安部幸治	笹 谷	高橋 潔	野 谷	稲村啓爾	下熊谷上	高尾佳男
越 前	山本堯一	芹 谷	加納洋司	箱 淵	石川チトセ	石	勝部 良	下熊谷下	杉原充俊
針 江	木村泰明	城 山	加藤孝幸	加茂町		尾 原	高野耕治	村 方	勝部忠男
荒井町	門脇重光	免 別	和久利守彦	立 原	内田克士	芦 原	石橋照元	新 塔	小林憲司
城之越	曾田民江	半 戸	和久利 剛	近 松	瀬田浩二	瀬之谷	村尾享紀	塔の村東	田部弘美
馬 場	佐々木八洲	宮 下	錦織正訓	南大西	佐藤建一	引 野	石田 清	新 市	山田 肇
高 峰	森脇 始	宮 上	高橋 清	北大西	坪倉剛志	大 島	霍田 徹	畑 地区	畑 嘉明
松 尾	吉木一夫	表佐世	永瀬孝吉	連担地	土江 豊	久ノ元	松原盛義	加藤地区	加藤憲一
芦 谷	森脇 誠	清久上	藤原 誠	奥廻田	佐藤武吉	水 谷	周藤嘉治	竹下地区	竹下篤徳
鶴	永瀬利明	清久下	佐藤忠夫	前廻田	白根淳二	能 間	石田 聖	細木地区	細木 剛
畑	永井 勉	東 上	永瀬一之	中村上	広野利雄	案 内	細木 訓		
奥遠所	福山静夫	宮 内	三原義之	中村中	坂本 隆	吉井上	周藤義弘		
中遠所	吉野 勉	上市場	鳥谷和生	中村下	坂田邦雄	吉井下	江隅一徳		
下遠所	山崎 洋	福 富	勝代伸二	南加茂東	渡部正憲	中の段1	錦織 主		

大原森林組合本所(大東町) 購買からのお知らせ



大原森林組合では、
鎌やノコ、刈払い機の刃など
作業するための商品を取り扱っております。
ぜひ、お立ち寄りください。

土が変わるとこんなに違うんです！ フルボ酸で「土づくり」はじめませんか？



そもそもフルボ酸とは？

森林や土壌の中に存在する有機酸の一つで、植物にミネラルを補給する役目を担っている「ミネラルの運び屋さん」です。そのフルボ酸が、土の自然治癒力を促進し、土壌障害を起こさない「土づくり」を実現します。

100ml入り **3,024円** (税込)
500ml入り **14,148円** (税込)

山を知ろう！

そういえば、
毎年税金を払って
いるけどウチの山つ
てどこに
あるんだろう？



あつそうだ！
森林組合に
聞いてみよう！



はあ、
ここが
ウチの
山かあ



これが
おじいさんの
植えた
スギかあ
大きくなつて
るなあ



当組合は、財産である森林を次世
代に引き継ぐお手伝いを致します。
山の事なら森林組合までご相談
ください。

8月11日は「山の日」祝日です。

「森の相談日」 を設けています！ お気軽にご相談ください。

森林の手入れ・山林の境界・家や田畑の周辺の草刈・風雪害等による
樹木の処理等にお困りの方、何でもお気軽にご相談ください。

毎月第1週の木曜日 本所(大東) TEL.0854-43-8711
第2週の木曜日 加茂支所 TEL.0854-49-7183
第3週の木曜日 木次支所 TEL.0854-42-1224

木曜日は木(き)の日です。朝8:30~17:00まで

お知らせ：加茂支所は午前のみ営業しています。

●編集／大原森林組合

●発行／平成28年7月15日

本所／〒699-1223 雲南市大東町下阿用401-1

木次支所／〒699-1312 雲南市木次町山方1358-1

加茂支所／〒699-1106 雲南市加茂町加茂中1042-1

TEL.0854-43-8711 FAX.0854-43-6680

TEL.0854-43-2452

TEL.0854-42-1224 FAX.0854-42-1224

TEL.0854-49-7183 FAX.0854-49-7183

■山林の維持、管理についてのご相談は森林組合へ■